

FAX 通信

2025年9月1日発行 No.04-033 From KOTANI

ホームページ <http://www.kotanikk.com>

新シール概論 (3) (7) ハウジングに関する事項 (4)

1) ハウジングについて(続き)

3) 組立について(その他)

(1)(2)項ではハウジングに関して注意すべき事項を述べました。シールの組立についても一部述べましたが、この項でもう少し追加しておきます。

- ・ 自動でシール類を組み立てる場合の注意すべき内容：

シールの内径などを広げる場合にはゴム材料の伸び特性を確認してください。特に小径のものでは案外ゴムの伸びが大きいので、問題はないと誤解されませんが、危険です。必ず伸ばす比率とゴムの伸び特性をチェックしてある程度の余裕が必要です。

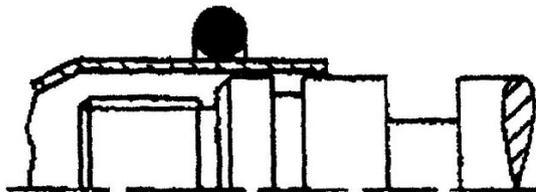
例えば、内径の伸ばし率が 200%であれば、ゴム材料の破断伸びは 250%以上、できれば 300%程度は必要となります。

ゴムの破断伸び特性はばらつくことも起因しています。

同時に若干伸びが元に戻り難い場合もあるので、シールをセット後、組立まで放置時間が必要となります。

- ・ ねじなどある箇所を横切る場合

ねじや、スプラインなどは、どうしてもシールを傷つけるようなかえりやシャープな箇所があるので、通常、下図のようにカバーできるような治具を用いることが必要です。



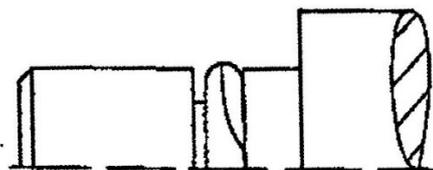
(上図はねじの場合の治具例です)

- ・ ねじれのないことの確認

Oリングなどは容易に伸ばして装着できますが、どうしても太さが細いOリングではねじれが発生し易いので、ねじれ

のないことを確認してください。(他のシールも同じ)

これらはOリングのぼりの位置を確認することで出来ます。



(上図はOリングのぼりがねじれている場合を示します：不良例)

いずれにしても、組み立てには、再三の注意が必要であり、組み立てながら、検査の目で見ることも重要になります。

トラブルの多くは、この組み立てに起因しても過言でもありません。

最近はシールも自動組み立てが多くなっているも事実ですが、完了後の自動検査の項目を加えるべきでしょう。

(続く)

取扱い製品について

NK リング：ふっ素ゴムをふっ素樹脂で被覆した周期的なOリング

コードリング：英国 NES 社の誇るふっ素ゴムつなぎOリング

TESNIT：スロベニア DONIT TESNIT 社製の高品質ジョイントシート

その他の各種シール製品

以上の詳細はホームページに記載していますので、是非ご覧ください。カタログや技術資料は、ご要求がございました下記の本社宛にご一報ください。

コタニ株式会社

本社：神戸市中央区浜辺通 2-1-30

TEL:078-251-5300 FAX: 078-251-5307

FAX 通信の記事についてのご意見や質問がございましたら下記の担当者に連絡ください。(担当：根本)